

# 「たのしい理科」年間指導計画 北日本地方〈3年〉

- ・データの中で、赤字で記載されている単元名は北日本版のために時期を移した単元になります。
- ・データの中で、青字で記載されている単元は他の単元の移動にともなって時期が変わった単元です。
- ・データの中で、} で括っている単元は、地域や学校の実態に応じて、同時進行が考えられる単元です。

実質(法定)

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
1学期 計36 (37)	1学期 (前期) 計44 (47)	4月 [8]	1 しぜんのかんさつ		4(4)		
			4 ゴムや風の力	・植物の栽培・観察を適切な時期とするため、この単元を「2 植物の育ち方 [1] たねまき」の前に行う。 ・この単元をこの時期に行うことは、観察からでは獲得することの難しい科学的な検証の仕方(仮説→検証)について、早い段階で学ぶことができるというメリットもある。	7(7)		
		5月 [10]	2 植物の育ち方[1] たねまき	・5月の連休が明けるとは、まだ霜が降りるおそれがある。種を花壇などに直まきする場合は、植物をポットから苗の状態ですて替えるなどの場合も連休明けに行うのがよい(連休中の水かけ等の心配も軽減される)。	5(5)		
			3 こん虫の育ち方	・モンシロチョウなどの昆虫の飼育は、食草(キャベツ・アブラナ等)の大きくなる6月ごろに行う。また、アゲハ・モンキチョウなどについても、食草(カラタチ・セリ)等も大きく伸びてくる時期であり、発見しやすく一人一飼育をめざすことができる。 ・前年からキャベツを栽培しておくことがのぞましいが、なかなかうまくいかない場合も多い。そういった場合は、園芸店などからキャベツの苗を購入しプランターなどに植えておくことで、モンシロチョウの産卵の確率が高くなる。植木鉢であれば、そのまま教室で観察可能。	10(10)		
		6月 [10]	◎ 植物の育ち方[2] 葉・くき・根	・この単元と、「2 植物の育ち方 [1] たねまき」「3 こん虫の育ち方」の単元を時期を見ながら並行して行う。			
			5 音のふしぎ		6(6)		
			◎ 植物の育ち方[3] 花	・植えつけや種まきの時期によって、早まったり遅れたりするので、「5 音のふしぎ」と並行して行う。	2(2)		
			◎ じゆうけんきゆう		0(2)		
		2学期 計33 (36)	2学期 (後期) 計42 (43)	9月 [7]	6 動物のすみか	・植物の葉の学習のタイミングと昆虫の観察のタイミングをとらえるのは難しく、ここでは天候や気温に合わせて動物と植物の観察をフレキシブルに入れ替えるといったような構えで学習に向かいたい。一つひとつの単元を順に追っていくのではなく、その日に合わせた観察の学習をしていくとよい。	4(5)
					7 植物の育ち方[4] 花がさいた後		4(4)
				10月 [9]	8 地面のようすと太陽	・10月後半になると、学習内容に合わない天候となることも少なくない。場合によっては、上記の単元の進捗状況も考えながら早めの学習も考えたい。 ・地面の暖かさの違い(手ざわり調べ)は、地面の温度が上がる4校時目くらいに実施するとよい。	9(10)
				11月 [10]	9 太陽の光	・前単元も同様であるが、時期が遅くなると晴れの日が少なくなる。できるだけ早めの学習としたい。 ・「4 ゴムや風の力」と入れ替えて行うことも考えられる。	7(7)
12月 [7]	10 電気の通り道				9(9)		
3学期 計17 (17)				1月 [5]	11 じしゃくのふしぎ		8(8)
		2月 [8]	12 ものの重さ		6(6)		
		3月 [4]	◎ おもちゃショー		3(3)		
		86	合計		86(90)		

## 「たのしい理科」年間指導計画 北日本地方〈4年〉

- ・データの中で、赤字で記載されている単元名は北日本版のために時期を移した単元になります。
- ・データの中で、青字で記載されている単元は他の単元の移動にもなって時期が変わった単元です。
- ・データの中で、} で括っている単元は、地域や学校の実態に応じて、同時進行が考えられる単元です。

実質(法定)

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
1学期 計37 (38)	1学期 (前期) 計47 (49)	4月 [8]	◎ 季節と生物[1] 春の始まり	・ツルレイシやヘチマの種まきは、室内で牛乳パック等を用いて行ったり、屋外でマルチを用いて行うのであれば、4月中に行うことが可能である。屋外で花壇やプランター等に種まきをする場合は、5月の連休明けに行う。ペットボトルを半分に切ったものを逆さにかぶせると温室効果がある。 ・植物の成長や動物の活動のようすは天候などによって左右されるので、観察などに適した状況となるよう「天気と気温」と同時進行して扱うとよい。	1(1)		
			1 天気と気温		7(7)		
		5月 [10]	2 季節と生物[2] 春		7(7)		
			3 電池のはたらき		8(8)		
		6月 [11]	4 とじこめた空気や水		6(6)		
				◎ 季節と生物[3] 夏		5(5)	
		7月 [8]	◎ 星や月[1] 星の明るさや色	・星の観察は梅雨明けの時期となるため、早い時期に夜間の星の観察の仕方や記録のとり方を指導しておき、「◎季節と生物[3] 夏」と同時進行しながら、観察に適した日に行うとよい。	3(3)		
			◎ 自由研究		0(2)		
		2学期 計41 (44)	2学期 (後期) 計53 (56)	9月 [10]	◎ 季節と生物[4] 夏の終わり		2(2)
				10月 [12]	5 雨水のゆくえ		10(10)
					6 星や月[2] 月と星の位置の変化	・月齢を調べ、学校の学習時間に観測できる日を逃さないようにする。	8(8)
11月 [11]	◎ 季節と生物[5] 秋			・生き物の秋のようすは、その年の台風や秋雨、気温の低下(降雪)等に左右されるので、「5 雨水のゆくえ」「6 星や月[2]」と3単元同時進行して扱うとよい。	4(4)		
	7 わたしたちの体と運動				8(9)		
12月 [8]	◎ 星や月[3] 冬の星			・冬季の日本海側では、晴れ上がった空はほとんど見られない(見られても短時間)。観察に適した日に星の動きの観察を行うために、「9 季節と生物[6]」と並行して行うとよい。	2(2)		
3学期 計22 (23)		1月 [6]	9 季節と生物[6] 冬		6(6)		
		2月 [9]	10 もののあたため方		8(8)		
			11 すがたを変える水		8(8)		
		3月 [7]	◎ 季節と生物[7] 春のおとずれ		0(1)		
		100	合計		100(105)		

## 「たのしい理科」年間指導計画 北日本地方〈5年〉

- ・データの中で、赤字で記載されている単元名は北日本版のために時期を移した単元になります。
- ・データの中で、青字で記載されている単元は他の単元の移動にともなって時期が変わった単元です。
- ・データの中で、} で括っている単元は、地域や学校の実態に応じて、同時進行が考えられる単元です。

実質(法定)

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間
1学期 計32 (38)	1学期 (前期) 計39 (46)	4月 [7]	1 天気と情報[1] 天気の変化	・雲のようすの観察は、天気左右されるので時間割変更等で柔軟に対応したい。	9(10)
		5月 [9]	2 生命のつながり[1] 植物の発芽と成長	} <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験後のインゲンマメを地植えする際に、受粉・結実で使用するアサガオ(ツルレイシ)の種まきを行う。ツルレイシは日当たりのよい場所を好む。長期間栽培を行う上で、水と肥料の管理が大切である。</li> <li>・屋外で花壇やプランター等に種まきをする場合は、ペットボトルを半分切ったものを逆さにかぶせるなど、保温に気をつける。</li> </ul>	11(13)
		6月 [9]	3 生命のつながり[2] メダカのたんじょう		
		7月 [7]	4 天気と情報[2] 台風と防災		4(4)
			◎ 自由研究		0(2)
			9月 [9]	5 生命のつながり[3] 植物の実や種子のでき方	
2学期 計40 (45)	2学期 (後期) 計52 (59)	10月 [11]	6 流れる水のはたらきと土地の変化	・川の観察ができるようであれば、気温が下がって寒くなる前に観察・実験に出かける。	12(14)
		11月 [12]	7 もののとけ方		12(13)
		12月 [8]	8 ふりこの動き		9(10)
		1月 [6]	9 電磁石の性質		11(12)
3学期 計19 (22)		2月 [8]	10 生命のつながり[4] 人のたんじょう		8(9)
		3月 [5]	◎ 6年の学習の準備		0(1)
		91	合計		91(105)

## 「たのしい理科」年間指導計画 北日本地方〈6年〉

- ・データの中で、**赤字**で記載されている単元名は北日本版のために時期を移した単元になります。
- ・データの中で、**青字**で記載されている単元は他の単元の移動にもなって時期が変わった単元です。
- ・データの中で、**}**で括っている単元は、地域や学校の実態に応じて、同時進行が考えられる単元です。

実質(法定)

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
1学期 計37 (42)	1学期 (前期) 計44 (51)	4月 [8]	◎ わたしたちの生活と環境		1(2)		
		4月 [8]	◎ 学習の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャガイモの植え付けの準備は、雪解けとともに行う。</li> <li>・ジャガイモを露地に植え付けた場合、芽が出た後に霜が降りることがある。天気予報を見て霜が降りそうなときは、大きめのビニル袋をかぶせるようにする。</li> <li>・ジャガイモをプランターで栽培する場合は深型のものを使用し、日当たりの条件に合う場所を選んで栽培する。教室に持ち込んで観察するのに便利である。</li> <li>・ホウセンカ、インゲンマメ等は、5月の連休明けに種まきをする。</li> </ul>	1(1)		
		5月 [10]	1 ものの燃え方		9(9)		
		6月 [11]	3 体のつくりとはたらき		10(12)		
		6月 [11]	2 植物の成長と日光の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元は、ジャガイモやホウセンカの育ち方は天候に左右されるので、状況を見ながら学習計画を立てるようにする。</li> <li>・日光と葉のでんぷんの関係をとらえる実験では、十分に時間をかけることが必要である。特に梅雨時は、日光が十分当たらなくなるので、時間割変更等で柔軟な対応が必要である。</li> </ul>	5(5)		
		6月 [11]	4 植物の成長と水の関わり		5(5)		
		7月 [8]	5 生物どうしの関わり		6(7)		
				◎ 自由研究		0(2)	
		2学期 計39 (44)	2学期 (後期) 計50 (54)	9月 [9]	6 月と太陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月齢を調べ、学校の学習時間に観測できる日を逃さないようにする。</li> </ul>	7(8)
				10月 [11]	8 土地のつくりと変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露頭観察をする場合は事前に下見を行い、計画を立てるようにする。また、寒くならない時期に野外での学習活動を終えるようにしたい。</li> </ul>	11(12)
11月 [11]	7 水よう液の性質				11(12)		
12月 [8]	9 てこのはたらき				10(11)		
1月 [6]	10 私たちの生活と電気				10(11)		
3学期 計18 (19)		2月 [9]					
		3月 [3]	11 生物と地球環境		8(8)		
		94	合計		94(105)		